

1.総A 除)5021社資交付金(街路)整備工事(柳之宮橋迂回路整備工事その1)

推薦者	関東地方整備局
発注者	埼玉県 越谷県土整備事務所
業者名	金杉建設株式会社
工期	2020年08月27日～2022年03月31日
施工場所	埼玉県八潮市
請負金額	454,865,400円

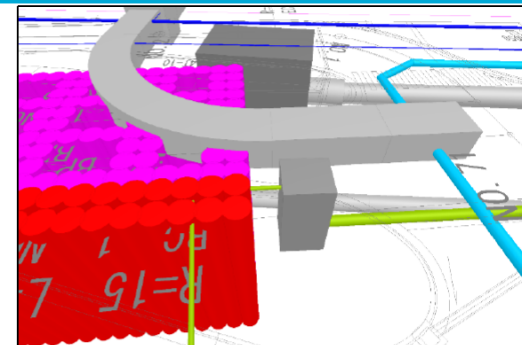
【取組概要】

施工箇所は民家や大規模工場に隣接しており、交通量も多く、周辺は慢性的な交通渋滞区間となっている。

工事を行うことにより、沿道の土地利用者や住環境への環境負荷が生じることとなり、その大きな影響を最小限に抑えて施工を行うことが柳之宮橋架替えやそれに伴う道路整備事業を円滑に進めるために必要であり、ICT施工や3次元設計データの作成を実施。



後付けICTシステムでICT建機化



隣接する他工事も同一の3次元モデル化事業に関わる関係者の合意形成を円滑化



埼玉県、各市町村職員を集めた見学会・研修会

- 小規模な土工事 (300m³) において、0.25m³級バックホウを後付けシステムでICT建機化を行い、排水構造物の据付けにおいても自動追尾測量機器を活用して丁張レス作業を実施。市街地では、駐車場や工場の出入り等の施工環境の負荷軽減に効果的である。これまで活用が進まなかった小規模土工事でのICT施工等の可能性を確認することが出来た。
- ICT施工や3次元モデルのデータ作成を社内で100%内製化することで、施工中に生じる不具合の早期発見を可能にしている。また、各種埋設物の占有管理者より埋設図を入手して埋設物の3次元モデル化や他発注者のインフラ工事の埋設物も3次元化することにより、事業全体での支障箇所の発見や、新たな施工上の問題点を事前に抽出し、協議・合意形成の効率化や、手戻りを防ぐなど、ICT技術を有効的に活用している。
- 県の担当職員や各市町村職員向け、先進的な取組みを紹介した見学会と研修会を実施するなど、ICT施工や3次元モデルの活用を広める活動も積極的に実施している。